

平成30年度 第4回 廃棄物減量推進部会会議

発言要旨

1 【日 時】 平成31年1月30日（水）10:00～11:20

2 【場 所】 西宮市役所 東館7階 701会議室

3 【出席者】 全9名（内、2名欠席）

項目	所属団体	役職名	委員名
環境計画推進 パートナーシップ 会議委員	大阪産業大学	教授	花田 眞理子
	環境衛生協議会	会長	樋口 賢一
	公募市民	—	柳生 裕之
市民代表	甲東エココミュニティ会議	会長	山崎 由美
事業者代表	にしのみや環境サポート協同組合 (株式会社ヤマサ環境エンジニアリング)	常務取締役	川越 勉
	生活協同組合 コープこうべ	理事	上田 久美子
市役所関係	学校教育課	指導主事	宇野 繁範

【事務局】 全12名

局	部	課	役職名	職員名
環境局	—	—	局長	須山 誠
	環境事業部	—	部長	田中 義弘
	環境施設部	—	部長	野田 敏彦
	環境事業部	美化企画課	課長	森川 信也
			係長	加羅 一巳
			係長	吉岡 崇
	環境施設部	美化第3課	課長	池田 信彦
			課長	小西 昇
		施設管理課	副主査	森本 雅樹
			課長	山村 康浩
			係長	高橋 能正
			技師	宮部 格

【会議支援】 3名 復建調査設計株式会社

4 【傍聴者】 0名

5 【欠席者】 2名

項目	所属団体	役職名	委員名
環境計画推進 パートナーシップ 会議委員	NPO 法人子ども環境活動支援協会	理事	小川 雅由
事業者代表	西宮商工会議所 (株式会社山一商会)	代表取締役社長	櫻田 健太

6 【会議の概要】

1. 出席者紹介

出席者の確認を行った。

2. 報告事項

1) 平成30年度第3回廃棄物減量推進部会の発言要旨の確認について

①花田部会長より、資料1、平成30年度第3回廃棄物減量推進部会の発言要旨について説明が行われた。

→事前に送付し、確認をいただいております、質疑がないため承諾とする。(委員)

2) パブリックコメント意見について

①事務局より、パブリックコメント意見について説明が行われた。

・後ろ向きな意見だったことにショックである。(委員)

→一定数こういう考え方を持つ方はいると思われる。(委員)

・その他プラの分別についてはいろんな方から聞かれる。行政の教育をもう少し踏み込んでやったほうが良いのではないかと。プラスチックマークがついたものだけが容器包装リサイクル法のメーカーが費用負担するものであるということをご理解いただけていない。(委員)

・黒いごみ袋は本当に危険である。収集時に注射針が刺さったことがある。そういうことも含めて、市民に分かってもらうことか必要だと感じた。(委員)

→黒い袋は危ないし、抑止力にもならず、分別の意識も薄れる。(委員)

・市の回答は、考え方が簡単に書いてある。先程口頭で説明した内容を入れてはどうか。(委員)

→この結果は議会に報告済みであり、この形で公開することになっている。今からの修正はできない状態である。(事務局)

3) 一般廃棄物処理基本計画について

①事務局より、資料2、一般廃棄物処理基本計画の本編について説明が行われた。

・表紙の「これからは2R」というコメントに違和感がある。2R+Rという話で進めてきた。2Rだけなのか、リサイクルはやらなくて良いのか、表紙だけを見たときに誤解されないか心配である。(委員)

→今まで3Rばかり言っていたが、これからの西宮市は2Rを中心としてやっていく。リサイクルをないがしろにしているのではなく、リサイクルはもう一つ別の問題で捉えるという感じで理解した。リサイクルは別で、ごみを発生させないという2Rに力を入れる感じがしてあまりこの表現に疑問は思わなかった。(委員)

→読み手の方が表紙だけを見たときにどう印象持つかだと思う。中身を読んでいたければ理解していただけたらと思うが、「これからは2R」に違和感があるのであれば、「まずは2R」などにもすることも考えられる。(事務局)

→「まずは2R」にすると、リサイクルが軽んじられる気がする。これからは2Rであるが、リサイクルももちろん大切であることを誤解されなければ良い。みやたんとみにゃっこにRを持たせることはできないか。(委員)

→みやたんとみにゃっこのデザインは決まっており、加工ができない状態である。

みやたんに「これからは2R」、みにゃっこの「リサイクルもね」と分けて言わせることは可能である。(事務局)

→分かりやすいと思う。(委員)

→表紙を修正する。(事務局)

- ・第1章6ページの写真を差し替えたところがあるが、以前の写真とどう変わったのか。(委員)

→風景は変わっていない。トリミング範囲を変更しただけである。(事務局)

- ・デザインを加えたことでコラムが読みやすくなった。(委員)

- ・40ページなどの空白に追加したコメントの字は手書きか。こういうフォントがあるのか。(委員)

→デザイン会社が作成したもので、こういうフォントがある。(事務局)

→市民目線のやわらかい感じで言っているのだから、上からではなく一緒にやっという感じで良いと思う。(委員)

- ・第7章54ページの図の青色がきつい感じがする。他と合わせてドットなどを使ったほうが良い。(委員)

→修正する。(事務局)

- ・36ページ及び51ページの表について、和暦のみの記載となっているが、西暦を併記する。(事務局)

→平成31年度まではカッコで西暦を併記して、平成32年度以降は西暦だけではないのか。(委員)

→西暦併記が基本である。今回の一般廃棄物処理基本計画は、年度内に印刷業者に発注をかけて年度内に納品となり、4月から市民の皆さまにわたる形となる。新元号は4月1日に発表されるが、それはどうしても反映できない状態である。(事務局)

- ・今回配布した資料は、市にあるプリンタで印刷したため見にくいところがある。今後は、印刷会社のほうに印刷していただくので、もう少し見やすくなると思う。また、裁ち落としといい、紙いっぱいまで印刷していただくので、右側のインデックスも横から見えるようになる。(事務局)

→この資料はやわらかい感じの色となっているが、印刷にかけるとくっきりするかもしれない。(委員)

→印刷会社の機械の兼ね合いもあるので、印刷会社との打合せの時に調整する。(事務局)

②事務局より、資料3、一般廃棄物処理基本計画の概要版について説明が行われた。

- ・本編と同様に表紙を修正する。(事務局)

- ・4ページにあるコメントのフォントは普通である。本編と同様のやわらかいフォントにできないか。(委員)

→修正する。(事務局)

- ・6ページの写真の女の子がこちらを向いているが、顔は分からないようになっているか。(委員)

→この状態では判別できないので大丈夫だと思うが、実際に印刷したときに鮮明になるようであれば修正する。市のホームページ等で写真を載せるときは、顔が載

ったら困る方はいないか先に聞き、載せるのはダメだという方がいたら載せない、それ以外の方は基本同意していただいたということで載せさせてもらうというようにしている。プライバシーの配慮はしている。(事務局)

- ・インパクトがあるこの表紙が、例えば市内のさまざまところにポスターとして目に触れることで、学校のほうで特に小学校3年生は西宮市の環境についての勉強をするので、授業の中で話題が膨らんでくるだろうなと思った。これからがスタートということになるが、素晴らしい取り組みだと感心している。(委員)
- 西宮市は、外から見るとすごく意識が高い自治体だという印象がある。だから、ぜひ2Rを率先して、他の自治体に先駆けてどんどん取り組んでいただけたら良いと思う。また、他の自治体で計画を考えたときに、企業の方が表紙はすごく大切だということを言っていた。表紙が当たり前な内容だと見た人の印象に残らないということで、できるだけインパクトのある表紙にしたほうが良いという意見があった。この表紙はインパクトがあって良い。(委員)

3. 確認事項

1) その他連絡事項について

- ①事務局より、修正版の一般廃棄物処理基本計画の確認方法について説明された。
 - ・本編と概要版については、表紙も含め何点か宿題をいただいたので修正し、修正したものを郵送でお送りし、何か意見があるようであれば連絡いただいて調整させていただきたい。(事務局)
 - 修正については市に任せる。表紙だけメールで送ってもらえば良い。(委員)
- ②事務局より、今後の廃棄物減量推進部会の体制等について説明された。
 - ・廃棄物減量推進部会は引き続き来年度以降も設置していく予定である。ただし、パートナーシップ会議の任期が切れるので、廃棄物減量推進部会の人選についても今後の調整ということになる。来年度の部会は少なくとも30年度のごみ量の実績が確定した段階で、報告もかねて実施したいと考えており、委員になっていただいた方にはまた連絡するという形で来年度も進めていきたいと考えている。(事務局)

以上